

“おもしろくて ためになる <sup>わかちあい</sup> 学びの共有”

秋田県教育カウンセラー協会機関誌 全国大会ふりかえり記念号

\*\*\*\*\*

# 教育カウンセラー あきた



第 30 号

\*\*\*\*\*

2022年（令和4年）6月27日発行

## 第 18 回日本教育カウンセリング学会

研究発表大会（秋田大会）

ふりかえり記念号！



\*\*\*\*\*

公開シンポジウム話題提供者

奈良 恵子

（秋田市立秋田北中学校校長）

秋田大会で実感したことは「繋がり」です。準備ではコロナ禍のため紆余曲折がありましたが、河村茂雄先生、荻間澤勇人先生の温かな激励と秋田支部の会員の皆様の繋がりでも乗り越えることができました。大会当日のシンポジウムでは、瀬尾知子先生、佐藤さゆ里先生、私と立場が違っても、周囲が連携して温かくかかわりながら子どもを育てるという視点で一致し、秋田の教育の繋がりを実感しました。今も、参加して下さった先生方が全国各地で教育カウンセリングに関わってご尽力していることを想像し、繋がりを感じることが私のエネルギーとなっています。改めて、ありがとうございました。

公開シンポジウム話題提供者

佐藤 さゆ里

（横手市不登校適応指導

「南かがやき教室」教育相談員）

私たち秋田メンバーの自慢できるところは、それぞれの得意技やその人らしさの出しやすい風土があるところです。秋田でお引き受けすることが決定したあの日から大会本番を迎えるまで、初めてづくしがいっぱいな道のりでした。しかし、その中でも「そうきたかー！でもお任せあれ！」と言わんばかりに、それぞれのきらりとした得意技が繋がった秋田大会であったと感じています。

おもしろくてためになる <sup>わかちあい</sup> 共有-私たちのスローガンです。秋田大会での学びや出会いが秋田メンバーの温度と共に、みなさんの心に残る時間になっていたのなら光栄です。

